

序章

本学は、1882年に創設されて以来、本学の教旨にある建学の理念に沿って教育研究の改善・改革に努め、学生のための大学、社会へ貢献することを通して存在感の高い大学づくりを志向し現在に至っている。

この十数年間では、「21世紀の教育研究グランドデザイン」「Waseda Next 125」を策定し、様々な改革を遂行してきた。「Waseda Next 125」は2008年度からの10年間を目途とする大学の将来像を策定し、2012年度までの具体的な施策が提示され、本学ホームページに「理事会の基本的な考え方」「年度別の計画・報告」を掲載している。2012年には、さらに先の創立150周年（2032年）を展望した「Waseda Vision 150」を策定し、広く社会に発表した。

本学の大学点検・評価に関する取り組みとしては、教育研究を自主的に改革し、その一層の充実と発展を図ることを目的として、1999年に本学独自の「大学点検・評価委員会」（理事会および各学部・研究科・研究所等から選出された教職員をもって構成された委員会である）を設置し、本委員会の下に「第三者評価実行委員会」（学外の専門家をもって構成された委員会である）を設けた。本委員会による全学的な取り組みとして、2000年10月から2001年3月にかけて、全学の教学機関を16の小委員会に振り分け、この小委員会ごとに自己点検・評価を実施し、自己点検・評価報告書を作成した。その報告書をもとに「第三者評価実行委員会」による第三者評価を翌年度に実施した。これらの成果は、各学部・研究科・研究所等のさらなる教育研究の改善・改革に活用するとともに、18グループごとに作成した「2000年度自己点検・評価報告書—総括集—」「2001年度第三者評価報告書」を本学のホームページに掲載し情報開示に努めている。

2004年度より大学全体の認証評価について第三者評価から審査を受けることが法令で定められ、本学においても2005年度に自己点検・評価を実施し、2006年度には財団法人大学基準協会の認証評価を受けた。その結果、同協会の基準に適合していることを2014年3月31日まで認定されたが、勧告1件、助言24件の指摘を受け、本学の状況、課題そして改善の方向性について、継続的に点検・評価を実施する必要性を確認した。

今回、本学は2013年度に同協会の認証評価を受けることにした。これまで本学が取り組んできた教育・研究に関する活動について、自己点検・評価を実施し、更なる本学の発展に繋がたいと考えている。

早稲田大学 大学点検・評価委員会
委員長 橋本周司